

マンガ／アニメのハロウィーン

佐々木隆

ように指摘した。

プロローグ

これまで筆者はハロウィーンについては、『「ハロウィーン」とは何か』(二〇二二) (二)をはじめ、文化背景、各国のハロウィーン事情、日本でのハロウィーンの変容などを取り上げてきた。中でも日本のハロウィーンでは通称「渋谷ハロウィーン」に注目してきた。今回は人気マンガ／アニメのサブタイトルやストーリー上、活用している最近の作品を取り上げておきたい。

海外のハロウィーンと日本で繰り広げられているハロウィーンの違いは三つある。第一に本来ハロウィーンは十月三十一日限定の行事であるが、日本の場合には長期化の傾向にあること。第二に仮装が多様化し、いわゆるコスプレ化していること。第三に“trick or treat”はお菓子がもらえることもが主役となっているが、日本の場合には若者を中心あらゆる世代へとイベント化とされていることだ。クリスマスもそうであるが、日本での変容では無宗教化、大衆化の方向にある。 (二)

一 日本のハロウィーン

日本のハロウィーンは海外と比較すると次のようになるのではないだろうか。筆者はかつて次の

また、本来ハロウィーンに特定の都市が相当するはずがないが、日本ではハロウィーンが若者によりイベント化してしまい、その象徴として「渋谷」

が注目を浴びている。筆者は以前その理由として九つのポイントを挙げたが、若者が集まるという言葉が重要である。^(三) さらに日本のハロウィーンでは仮装ではなく、コスプレになっている点が大きな特徴だ。筆者は仮装≡コスプレとは考えていない。むしろ、仮装≠コスプレの関係といった方がふさわしいだろう。仮装は英語では“costume play”と表現されるが、コスプレにも“cosplay”という英語がある。では“cosplay”とはどのような定義されているのだろうか。Stevenson Angus, editor. *Oxford Dictionary of English* (2010)によれば次のような定義である。

the practice of dressing up as a character from a film, book, or video game, especially one from the Japanese genres of manga or anime.

(四)

Alisa Freedman and Toby Slade, editors.
Introducing Japanese Popular Culture (2018) の
“Glossary” でも次のように説明されている。

Cosplay (kospure) From of performance art, often at dedicated conventions or events, where participants wear elaborate costumes usually based on popular culture characters.

(五)

英語辞典の定義では特に日本のマンガやアニメのキャラクターに扮することとあり、後者はポップカルチャーにおけるキャラクターと幅広くとらえている。今や世界中で日本のマンガやアニメが知られるようになり、人気のキャラクターがあること、コスプレ用品が入手しやすい環境が整っ

ていることがあり、一般の人にもコスプレのハードルが高くない状態が生まれたことで、ハロウィーンの場合にはそれほど凝っていないけれども気にならない状態となっている。非日常を気軽に楽しめるのだ。一方、コミックマーケットのようなオタク気質の人が集まるようなイベントに登場するコスプレイヤーは再現度も高い。これに対してハロウィーンなどのイベントでの場合には仮装する人、コスプレする人といったような表現の方がふさわしいかもしれない。

さて、筆者は以前は渋谷だけが特別な状態であると指摘したが、大阪ではやはり道頓堀等、人の集まるところで同じような「渋谷現象」⁽⁶⁾が見られるようになった。つまり、ハロウィーンに人が集まってくるのはもはや渋谷だけでの現象ではなくなった。密度に違いはあるにせよ、若者が比較的集まる場所では渋谷のような事態が発

生しかねない状態であるのは、マスコミヤネットなどの影響もあり、波及している傾向にあるだろう。

二 マンガ／アニメのハロウィーン

二〇二三年のハロウィーンは渋谷区長が早くから「渋谷に来ないで」宣言をしたこと、横断幕を設置したこと、センター街を一方通行にしたこと、JR渋谷駅のスクランブル交差点口等の改札に制限を設けたこと、さらにこうしたことがマスコミヤネット上でも話題となり、可視化（見える化）されたことにより渋谷ハロウィーンは結果的には大きな混乱もなく、むしろ人出を抑制した結果となった。

筆者は当初はアフターコロナのため、かなりの心配をしていた。⁽⁷⁾ なぜなら、ハロウィーンが

再び注目を浴びる契機となるものが二〇二二年
〜二〇二三年に立て続けに登場したからである。

『名探偵コナン』シリーズではアニメ映画、満仲
勸監督『名探偵コナン ハロウィンの花嫁』（二

〇二二年四月十五日公開）では渋谷が舞台となつ
ている。ハロウィーンが間近に迫ったある日、コ
ナンたちは渋谷で行われる高木渉と佐藤美和子
両刑事の結婚式に招待され参列したが、式場に男
たちが押し入り、高木が佐藤を庇って撃たれてし
まう。また、スクランブル交差点が象徴的に扱わ
れる等、ハロウィーン↓渋谷↓スクランブル交差
点という構図がそのまま設定されている。

また同様にTVアニメ（TBS系列）で人気を博
している『呪術廻戦 渋谷事変』も二〇二三年八月
三日より放映が開始されている。原作のマンガでは
『呪術廻戦』（八三話「渋谷事変①」）（『週刊少年
ジャンプ』二〇一九年十一月十一日発売）、渋谷事

変は八三話から一三三話で描かれている。集英社の
ジャンプコミックスでは「渋谷事変―開門―」（二
〇二〇年六月九日発行）から「渋谷事変―閉門―」
（二〇二二年六月九日発行）となる。『呪術廻戦』
では「渋谷事変」以前でも十月三十一日がひとつの
キー・デーになっていた。場面は二〇一八年十月三
十一日である。そのおもな時系列は以下の通りであ
る。

一九：〇〇 東急百貨店東急東横店半径 400M の
帳

二〇：一四 東京メトロ渋谷駅13番出口側（帳外）

二〇：一四 JR渋谷駅新南口（帳外）

二〇：一四 文化村通り道玄坂2丁目（帳内）

五条悟現着

二〇：三八 渋谷ヒカリエ Shing's Bf1

二〇：三九 青山霊園

二〇：四〇 東京メトロ渋谷駅 B5F 副都心

線ホーム

二〇：五一 東京メトロ明治神宮前駅 2番出口

側

二一：〇三 東京メトロ明治神宮前駅 B2F

もうひとつ注目すべきは『パリピ孔明』もTVアニメ(TOKYO MX他)として二〇二二年四月五日(六月二十一日に、実写ドラマ(フジテレビ系列)として、二〇二三年九月二十七日から放映開始。された。この作品では諸葛孔明が十月三十一日にハロウィーンの渋谷センター街に異世界転生するところから始まるのだ。

渋谷に限定できないものの英勉監督『東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編 運命』(二〇二三年四月二日公開) 英勉監督『東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編 決戦』(二〇二三年六月

三〇日公開)とこれだけハロウィーンを利用したストーリーが立て続けに発表されたのも単なる偶然だろうか。『東京リベンジャーズ』は原作マンガ、その後アニメ化され、さらに実写映画化された。ハロウィーンと異界とのつながりを想起させる

『呪術廻戦』は最もハロウィーンの雰囲気を実現していることになるだろう。悪魔や死者の蘇りと呪術や式神はまさに異界を表すものだ。

さらに日本の作品ではないが、ジャスティン・シミア監督『ホーンテッドマンション』(二〇二三年九月一日公開)もあり、ハロウィーン尽くしと言っても過言ではないだろう。魔法と言う事にこだわればとしま園の跡地に新しく二〇二三年六月十六日にオープンしたワーナーブラザーズスタジオツアー東京・メイキング・オブ・ハリー・ポッターも間接的に関係するといつてよいだろう。このテーマパークではホグワーツ魔法学校の学寮のそれぞれのマ

ントを購入後着用し、写真を撮る光景が散見される。この格好はそのままハロウィーンの際に利用しても違和感がないからだ。ここ数年はこうした動きがあったことは注目しておきたい。

エピソード

アニメやドラマの放送開始により『呪術廻戦』、『パリピ孔明』はハロウィーンと渋谷を結びつけた作品だけに、十月三十一日に聖地巡礼を兼ねてハロウィーンという二重構造が出来上がってしまったのが二〇二三年である。アニメやドラマに実際の事件や事故が挿入されることで非現実世界の中に現実世界が入り込み、今度はそのアニメやドラマを見た者が現実世界でそれをどう感じるだろうか。

注

- (一) 拙著『「ハロウィーン」とは何か』(前編)(後編) (武蔵野学院大学佐々木隆研究室、二〇二二年四月)の後編「第3章日本のハロウィーンとは何か」で取り上げていないマンガ/アニメを取り上げる。他のハロウィーンに関する著述についてはHP「佐々木隆研究室」(<https://www.econfn.com/ssk/>)を参照のこと。
- (二) 拙著『「ハロウィーン」とは何か』(前編)(後編) (武蔵野学院大学佐々木隆研究室、二〇二二年四月)、三六六頁。
- (三) 同上、四〇七〜四一二頁。
- (四) Angus Stevenson, editor. *Oxford Dictionary of English* (CLUP 3rd edition, 2010), p.394.
- (五) Freedman and Toby Slade, editors. *Introducing Japanese Popular Culture* (Routledge, 2018), p.470.

(六) 「渋谷現象」は筆者が勝手に命名したものであるが、自然発生的に人、特に若者が集まり、オーバーツーリズムの状態になると暴動等が起きる現象。特に渋谷センター街は路線バスの経路になつていないため、人が道路を比較的自由に歩ける状態になつてゐることなども大きな理由。

(七) 筆者は「ハロウィーン考 罰則伴う法令

なし に抑制困難」(『毎日新聞』朝刊、二

〇二三年十月十三日、第九面)は二〇二三年

のハロウィーンについては不安の種がある

ことを述べた。二〇二三年の渋谷ハロウィーン

については別の機会に検証を行いたい。